

平成28年度熱中症関連予算概算要求

(単位：千円)

省 庁 名	28年度 予算概算要求額	主 な 施 策 概 要
消防庁	通常業務の一環として実施	<ul style="list-style-type: none"> 消防庁ホームページ上で、熱中症による救急搬送人員数等の状況を、速報値として1週間ごとに提供。 熱中症の予防、症状や応急手当等について紹介した普及啓発リーフレットを消防庁ホームページ上に掲載するとともに、ツイッターを通じて、きめ細かな情報発信を実施。 消防機関に対し、熱中症予防対策の強化を呼びかけ。 「救急業務のあり方に関する検討会」の中で、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた熱中症予防対策に関連した救急体制の強化に関する検討を行う。(熱中症予防策を普及啓発するための応急手当講習の内容の検討等)
文部科学省	公立学校施設整備費(218,322,132)の内数(内閣府で計上している沖縄分を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公立学校施設について、地方公共団体からの計画を踏まえ、空調設備の設置を支援している。
厚生労働省	(健康局健康課) 通常業務の一環として実施 (労働基準局安全衛生部労働衛生課) 通常業務の一環として実施	<ul style="list-style-type: none"> 保健所連携推進会議、保健師中央会議等の場を通じて、保健所長、保健師等に対し熱中症予防策について周知を行う。 職場の熱中症対策として、前年の職場における熱中症死傷者数を取りまとめ、当年の熱中症予防対策とともに厚生労働省ホームページに掲載する。 都道府県労働局や労働基準監督署を通じて、事業者に対し熱中症予防対策について周知・指導を行う。
農林水産省	通常業務の一環として実施	<ul style="list-style-type: none"> 農作業中の熱中症予防のための留意点について、各都道府県や関係団体へ通知を発出し、現場の農業者等へ周知及び指導徹底を行う。 農林水産省Facebook、Twitter、メールマガジンで農作業中の熱中症の予防方法や応急処置について啓発を行う。 「熱中症予防声かけプロジェクト」と連携し、ポスター及びチラシを作成する。行政機関やJA、民間企業などに配布するとともに、農林水産省のホームページに掲載する。 熱中症計等の熱中症予防に資するグッズや機能性の高い農作業ウェアについて利用推進を図る。

気象庁	観測予報等業務費 (21,955,138)の内数	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の気温の観測情報及び予測情報の提供 (気象観測や予報を行うために必要な経費の内数で実施)
環境省	<p>(環境安全課) 熱中症対策推進事業 (98,521)</p> <p>(大気生活環境室) 熱中症予防情報の継続的提供 (51,537)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症に関する啓発資料作成事業 パンフレット等の作成・配布による普及啓発。 ・熱中症対策に係る指導者養成事業 自治体の担当職員や一般の方を対象にしたシンポジウムを、ICTも活用しつつ各地で幅広く開催する。 ・熱中症予防強化月間における熱中症予防事業 7月を中心に普及啓発イベント等を各地で展開する。 ・東京オリンピックに向けた熱中症に関する普及啓発事業 平成27年度に暫定的に作成する、夏期イベント等における熱中症対策に関する指針について、必要なデータの補強や検証を行う。 また、外国人に対する普及啓発活動の検討を行う。 ・現在、東京・新潟等の全国9地点の気象台敷地内において観測機器を設置し、予測値との比較・再計算を行うことで、当該地方の高い予測精度を維持している。その予測値をもとに熱中症予防情報サイトで暑さ指数を提供している。今年度も5月13日から10月16日まで同サイトを開設していた。